

学習内容報告書 フォーマット

学校名	北海道標津高等学校
授業者	第2学年団

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

総合的な探究活動「地域探究活動」

1-2. 学年

2学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な探究の時間

1-4. 単元の概要

「地域探究活動」は、地域学習から探究活動へ発展させる単元である。日本遺産に登録された「鮭の聖地の物語」をテーマに地域の森林・海洋・街の課題を掘り下げて探究活動を行う。

森林学習からは、森の生き物と町の生活の共生について深める。海洋学習は、海洋ゴミ問題をテーマに探究を行う。街からの学習は、町の防災減災を地域の災害から学びを深めるグループと町のビジネス課題を探究するグループで活動を行う。

1年間の探究活動をから課題設定や調査・分析方法を教科横断的に学ぶ。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

1学年時の探究に関する基礎的学習を発展させ、グループによるゼミ方式の探究活動を行うことで、生徒のコミュニケーション能力や探究力の向上を促すねらいがある。また、日本遺産に指定された地域を活用することで地域理解と地域創生に尽力できる人材の育成を図る。少人数ゼミ方式により、担当教員との協働的な学びを通して学びを深める。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

考える力 協働する力 課題解決に向け主体的に取り組む力

1-7. 単元の展開（全8時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	オリエンテーション 探究活動に向けて ・地域を3領域（海洋、森林、まち）に分けた探究活動を行うこと ・グループでの活動を行うこと	全体指導 主担当から説明
2 ～ 3	テーマ設定 3テーマ、4グループ作り プレゼン方法について、担当教員の発表から学ぶ	グループ担当教員によるプレゼン 担当するグループ以外のパワポの説明を行う。 グループ希望調査 グループ分け
4 ～ 8	グループ探究活動	グループ活動

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ


単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

探究活動グループ作り、探究テーマのプレゼンにより生徒の探究活動への興味関心を高め、自ら探究活動を行う素地を形成する。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>(導入)</p> <p>オリエンテーションの内容を復習 本時の説明</p> <p>(プレゼン)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 3分野のスライドで、探究活動テーマについて説明を受ける。・ 必要に応じてメモをとる <p>(グループ分け)</p> <ul style="list-style-type: none">・ グループ希望アンケートを実施 	<p>主担当から説明</p> <p>各担当で事前にプレゼンを用意する。 担当以外のプレゼンを行うため、教員間で事前打ち合わせを実施。</p> <p>メモを意識したプレゼンする</p>

3. 今回の活動の自己評価

グループによる探究活動を始めるにあたり、生徒に活動に対する期待感を持たせるように工夫した。担当以外の説明については、テーマを選ぶより教員でテーマを選ぶ事を防ぐために実施したが、実情として、生徒は、純粋にやりたいテーマで探究チームを希望していた。

事前に教員によるプレゼンを作成することで、教員間の探究活動への意識付けにも繋がった。今後の探究活動へ向けて、良いスタートとなった。

4. 今後の課題

本校の課題点であるが探究時間不足が解消できていない。教科横断的に探究活動を行いながら、総合的な探究の時間では、調査やまとめという作業に移りたいのだが、行事や他の進路活動との兼ね合いで予定していた時数の確保が難しい状況である。

教員数の減少にともなう行事の精選と探究活動の教科への落とし込みが今後の課題である。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし